

# 意見聞き不安払拭を

がれき  
処理 松阪のシンポ受け知事

松阪市で二十七日、東日本大震災で発生したがれきの市内処理を考えるシンポジウムが開かれたことについて、鈴木英敬知事は二十

九日の定例記者会見で「いろんな意見があったと聞いている。出た意見を真摯に受けとめ、不安の払拭をしていかなければいけない」と語った。

県が近々策定する受け入れに向けたガイドラインについてパブリックコメントをしている点では、二十七日現在で約三百件の意見が寄せられていると明かした。ただ、二つのアドレスからのものが二百二十五件と、七割以上を占めている

という。

また、受け入れるがれきの放射能濃度を一キダたり一〇〇μ以下、埋め立てる焼却灰では同二〇〇μ以下とした目安値への疑問

や、設備に関する意見が多いと説明した。意見の募集は今月末まで。鈴木知事は「重く受け止め、中身をよく精査して対応したい」と述べた。